

## 第 668 回 新潟放送番組審議会 議事録

### — 議題 —

ラジオ番組  
「高橋なんぐの金曜天国」

(放送日時：2021 年 4 月 2 日 (金) 9：00～11：50)



令和 3 年 6 月 30 日

**BSn新潟放送**

## 第 668 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 3 年 6 月 30 日 (水) 午前 11:00~

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 5F 511 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長 古賀 豊	委員 広川 和義
委員 高木 言芳	委員 石坂 智恵美
委員 大橋 未来子	委員 三井田 由香

○審議番組事前レポート提出

委員 馬場 幸夫	委員 渡邊 信子
----------	----------

○放送事業者側出席者

社長 佐藤 隆夫	専務取締役 島田 好久
メディア本部長 五十嵐 幹史	情報センター長 小湊 潤

<説明員>情報センターラジオ放送部長代理 高橋 紀子

事務局 金山 英功 (編成局テレビ編成部部長)

4. 議題

1 報告事項 令和 3 年 7 月の番組について (各局長)

2 審議事項 ラジオ番組

「高橋なんぐの金曜天国」

(放送日時: 2021 年 4 月 2 日 (金) 9:00~11:50)

5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、各担当からの 7 月度番組報告に続いて、ラジオ番組「高橋なんぐの金曜天国」について審議が行われた。

### ～番組審議委員の主な意見～

- 普段ラジオに接していないが、日々の生活シーン（仕事中、運転中、作業中・・）の中で“ながら”で聞くメディアだと思った。
- 当たり障りのない内容で記憶に残らない。番組のターゲットとどんなことを伝えようとしているのか教えてほしい。
- なんぐさんの声質・テンポ、林さんの底抜けの明るさ、そして2人の親しみやすさがこの番組の魅力。災害時、平常時では意味合いが違うが、心に寄り添ってくれる。
- 番組内で「共犯者」と呼ばれるリスナーの熱量の高さ、なんぐさんとの絆の太さを感じた。エンディングの時間いっぱいまで投稿を読み上げていたが、それだけ多くの声が寄せられているのだろう。
- 曲の選曲など、幅広い年齢層に配慮した番組構成だと感じた。
- オープニングからテンションが高く、合わなかった。提供スポンサーによって触れ方・扱い方が違う（番組提供とコーナー提供）気がしたので教えてほしい。
- 佐藤社長の番宣CMには驚いた。元アナウンサーとあって歯切れがよく、今後多方面にわたって活用しても面白いのでは？
- 内輪ネタがリスナーに届いているのか疑問を感じた。

### ～新潟放送 情報センター ラジオ放送部部長代理 高橋紀子より～

主にながら聴きのメディアであるラジオ生ワイドを、皆さまお忙しい中、じっくり聴いて下さって本当にありがとうございます。番組はもちろん、パーソナリティとアシスタントのコンビのテンポや関係性、好感度を褒めて頂き嬉しく思っております。

質問として、県内のラジオ閉局の話から提供スポンサーの扱い、金曜日の生ワイドという放送時間、番組ジングル、番組コンセプト、出演者の人選、Twitter、内輪受けの危惧…などを、たくさん頂きました。送り手側としては、放送・配信の先に、様々な方々がいることを改めて認識しようと、身の引き締まる思いでした。今後、制作現場とも共有し、末永く、さらに愛される番組作りに活かしていきたいと思っております。

日々、流れていくラジオ放送ですが、ラジコの普及やスマホの普及により、新規リスナーと復活リスナーが増え、オンデマンド聴取で様々なスタイルの聴き方が増えています。いざという時にはBSNラジオを頼ってもらえるよう、普段から聴いてもらえる楽しい放送はもちろん、リスナーが求める情報をきちんと伝えるべく、真摯に放送に向き合っていきたいと思います。